

高校・一般の部 最優秀賞

関谷 とみえ

私の伯父は福島県山間部の農家に、9人兄弟の長男として生を受けました。下に女ばかり7人、私の父は下から2番目の次男です。戦況が悪化してきた頃、大切な大黒柱であった伯父は召集され南方へ送られました。幸いにも終戦後まもなく復員してきましたが、元の元気な伯父ではありませんでした。戦地で罹ったマラリヤの後遺症で寝たり起きたりになりました。その後どういう訳でか、伯父は裏山の麓の小屋に一人独居するようになり、家族が食事を運んでいたとのことでした。後になって聞いた私に、母は「実はあの頃、義兄さんは心を病んでいたんだよ。優しい人だったから…、どんな地獄を見たのやら…。」と涙ぐんで話してくれました。やっとの思いで故郷に帰ってきたのに、家族と楽しい時を過ごすこともなくまもなく伯父は亡くなり、残された伯母は子供達を抱えて大変な苦勞をしたそうです。当時この様な辛い思いをした家族は少なくなかったと思います。戦争は人の体だけではなく心をも壊します。“人間らしさ”を奪う戦争を再び勃こしてはならないと、切に願うばかりです。